







奥好義編

歴史唱歌

東京

過雲館蔵版

くわさわみり





春
鳥
在

田
倉



八
月
廿
日

為古仰

錦雲

為古仰



高風

光祿



摩使唱歌

高丁毒乃

河兒平

子

明潤郎

高風

先嚴



歷史唱歌

志了毒乃

河一兒平

子

謝潤郎

以つた
 ち
 弟
 更
 々
 心

緒言

一此書は小學の道德教育の一助
 供せんが爲先特日本邦歴史上
 の偉人に關し歌唱歌を集免
 たり

一樂譜は必しも多種を收むるに
 要かりきを以て能く一種乃旋律
 によりて同性質の歌詞に流用し
 得べきものを收めたり

一歌詞の文字は右側に縦線を附し
 きるは四角音符二個の拍子に一字
 一保續するべきの記号あり

一此書の編成に就る中村小生一村
鳥山坂の諸大人及び榮岡義清
君の作歌より小山納所山田の諸君
の作曲より頗る著大の勞を蒙られ
たり爰に感謝す

明治二十七年五月 編者識

歴史唱歌目録

忠臣

和氣清磨 (神の御告)

藤原鎌足 (藤波)

楠正成 (下蔭)

菅原道真 (関の白雪)

平重盛 (雲隠)

孝子

橘逸勢の女

(月に夜寒)

微妙

(かひなき旅)

下毛野公助

(賭弓)

曾我兄弟

(空行く鴈)

日野阿訕丸

(佐渡の夜嵐)

才女

紫式部

(ゆづり色)

清少納言

(玉簾)

赤染漣門

(榮花)

待宵侍従

(鐘の音)

小式部内侍

(大江山)

貞操

山内一豊の妻

(黄金の花)

毛利勝永の妻

(島の蟹)

細川忠興の妻

(化粧の水)

楠正行の母

(言の葉)

静

(吉野山)

伎倆

蟬丸

(逢坂山)

源博雅

(楽の嵐)

尾張濱主

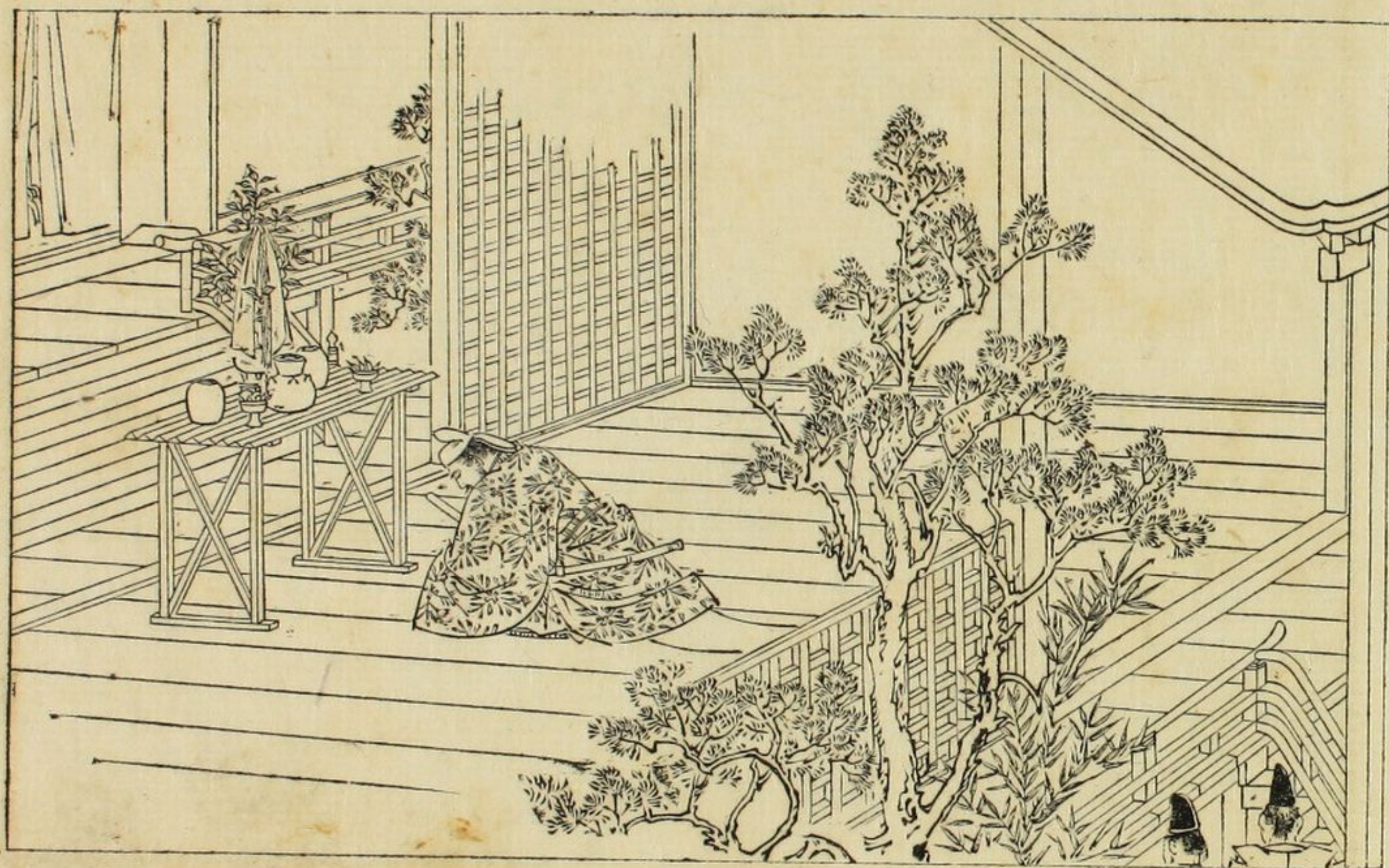
(舞の袖)

巨勢金岡

(巨勢山)

藤原行成

(扇合)



歴史唱歌目録終

神の御告

奥好義作曲

♩=100

mp

4/4

(イ調) 5 5 5 5 | 6 5 3 1 | 2 2 5 . 4 | 3 - . 0 |
 (-) ゆ - げ の か は よ り た ち の ほ り
 (ニ) ミ - ラ モ カ イ ヘ ラ モ カ ヘ リ ミ ズ

5 5 5 5 | 6 7 1 5 | 2 2 6 . 7 | 5 - . 0 |
 ひ - か ミ ゲ た ほ ひ し く も き り を
 カ - ミ ノ ミ ツ ゲ ラ キ コ エ ア ケ

mf

1 7 6 | 5 5 4 3 | 6 - 5 4 | 3 - 2 0 |
 い - つ の ち わ き に わ け の き き
 ミ カ ド キ ヨ メ シ キ ヨ マ ロ ミ ノ

f

5 5 3 2 | 1 7 6 7 | 2 2 5 . 5 | 1 - . 0 ||
 あ - は れ た か し ヤ そ の い さ 1
 ア - シ ノ コ コ ロ ヅ イ ト ア カ ミ キ

神の御告

坂正臣

第一章

弓削乃川よそ
 日影おほひ
 伊都乃千別よ
 あまのれ高しや
 雲霧を
 和氣の君
 おまゝ

第二章

身もも家をも
 神の御告を
 朝廷清き
 朝の御告
 願ふが
 聞え上げ
 清麻呂乃
 ねのいそ

藤波

小中村義象

第一章

近江にやに

咲きそえて

雲井にほふ

あぢけ花

たのき色香は

今もたは

仰ぐぬ人こそ

なつりたれ

第二章

やぐ乃雲霧

はせゆきを

月澄みのぼる

多武乃峰

いさを仰げら

今もたは

かどれ茅杉

かげ高

下陰

中村秋香

第一章

下陰志るる

高御座

設け一丈樹の

類ひなく

たのき勲功も

天つ日は

照らん限りぞ

仰ぐ海

第二章

名になづれる

湊川

きよしの節操の

日の本れ

臣れ鑑む

輝き

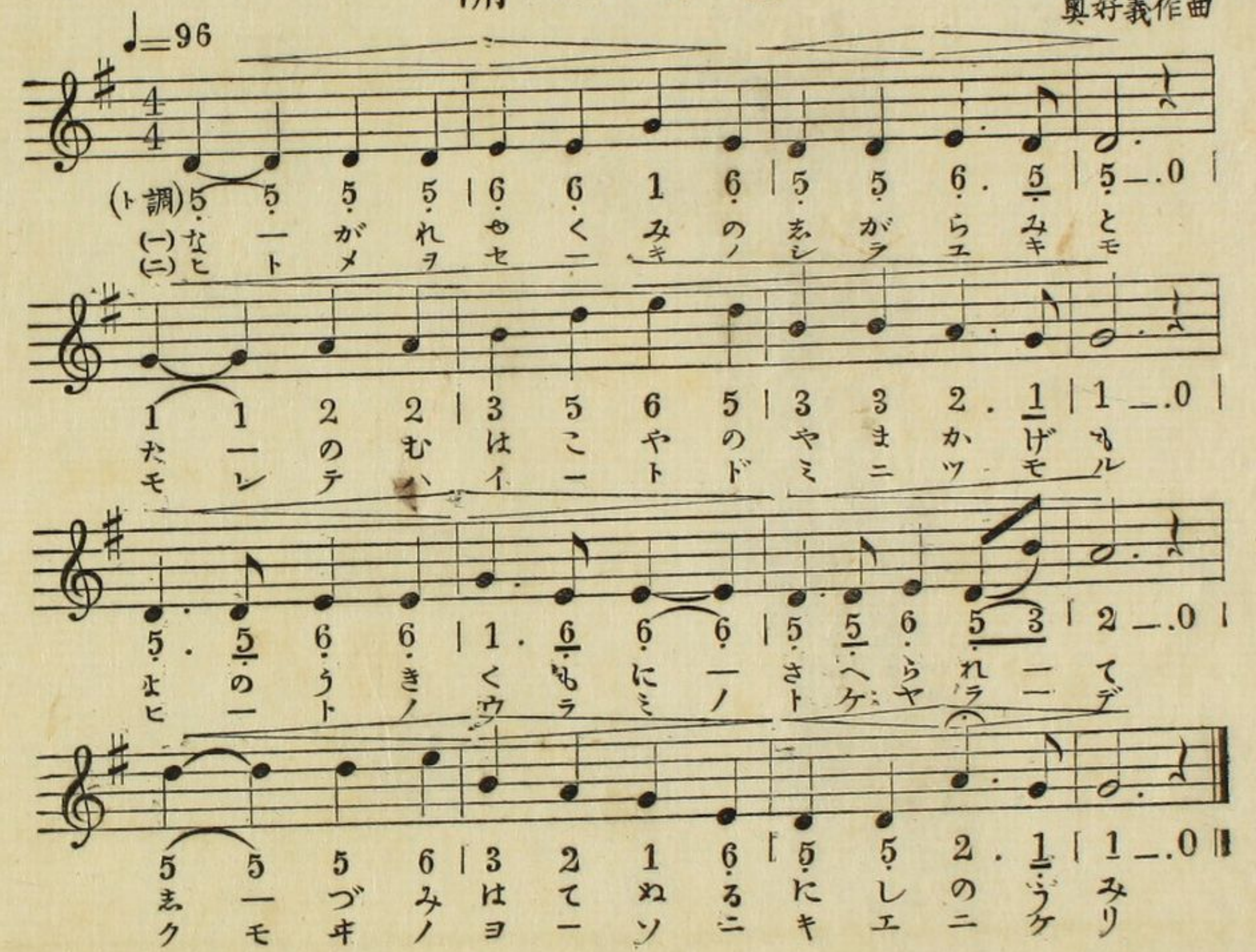
世をこそてらそ

御霊代

關の白雪

奥好義作曲

♩=96



(調) 5 5 5 5 | 6 6 1 6 | 5 5 6 5 | 5-.0 |
 (一) な ト が れ や く み の め が ら ら み と
 (二) な ト が れ や く み の め が ら ら み と

1 1 2 2 | 3 5 6 5 | 3 3 2 1 | 1-.0 |
 た レ の て む は こ や ド や ま か げ も
 た レ の て む は こ や ド や ま か げ も

5 5 6 6 | 1 6 6 6 | 5 5 6 5 | 3 2-.0 |
 よ の う き く も に さ (へ) ら れ て
 よ の う き く も に さ (へ) ら れ て

5 5 5 6 | 3 2 1 6 | 5 5 2 1 | 1-.0 ||
 ま モ づ み は て ぬ る に き し エ の ニ け み
 ま モ づ み は て ぬ る に き し エ の ニ け み

關の白雪

鳥山 啓

第一章

第二章

流きゆく身の 志のまみと
 たのむ 貌姑射の 山かきも
 世の浮雲り 西に海
 しづみはてぬる
 人めを 関は 白雪も
 身につもる
 人のうらみ乃 じけやらで
 きるよんり
 雲井のよもたに

雲くものつれ

菊間義清

第一章

ひえは山やま風かぜ

吹きさそふ

松まつ小こ好このり

雪ゆきあられ

花はなききには

春はるまて

つゝあひは

とやや

第二章

あすは夢ゆめ路ぢに

胸むねささぎ

いづよふけぬ

なげきつ

熊野くまのの山やま

身みとよせて

雲くもよかられ

人ひとやあれ



月に夜寒

山田源一郎作曲

♩ = 104

4/4

(ニ調) 3 3 4 5 | 6 6 5 3 | 2 2 1 2 | 3 - .0

(ニ) つ ア カ ツ に キ ヨ オ さ む キ の さ ヅ と ヌ シ ギ テ キ

3 3 4 5 | 6 1 5 3 | 2 5 6 7 . 6 | 5 - .0

う ニ ス ミ ゾ り も の う ら ニ む ベ ッ テ

4 3 2 | 6 2 3 3 | 4 4 6 6 | 5 - .0

か た も ル な ん ギ ヤ さ コ ノ カ ソ ラ ク な レ テ

5 5 6 3 | 5 4 3 2 | 6 3 2 1 7 | 1 - .0

か け レ も ニ み ハ ル ヤム チツ チキ 一カノ カニケ

月に夜寒

中村秋香

第一章

月よ夜寒は 薄き衣乃 かけも渚に つけても見なや 父づ身に

第二章

暁おきれば 露志げき 旅れそで 空くれで 月影 かるる都乃 時雨ようむ

かひなき旅たか

坂正臣

第一章

なき名ならうら
うしととの
蝦夷えいぞづ島しまべと
志しらねども

ちよあもんの
一ひとまむらう
たぐり降ふりぬ
東路あづまぢ哉

第二章

厚あつき情なさけをも

鎌倉かまくら

引ひけいひあき

なき人ひとふ

ちよはありぬと

きくうらに

墨すゝよそのりう

花はなの袖そで

賭か弓ゆみ

鳥山 啓

第一章

あらー烈たげき

ちよの實いの

けらにあちなん

かきーさに

はゆにうたき

撫なで子こは

はなのんぞ

うるけき

第二章

老おい女にらうら

ゆくばかり

うらにうたき

真ま弓ゆみこそ

千代ちよの後のちまで

親おや思おもふ

みちれたんよ

引ひのきたれ

空行く鴈

奥好義作曲

(調) 2. 2. 2 1 | 2. 2. 7. 7. | 6. 6. 6. 5. | 6. 0 |
 (一) た た さ へ つ ち け 6. 6. 6. 5. | 6. 0 |
 (二) フ タ ジ ガ ネ オ ー ロ シ フ カ バ フ ケ

1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |

1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |
 1. 1. 2. 2. | 5. 5. 3. 3. | 6. 6. 5. 3. | 2. 0 |

空行く鴈

小中村義象

第一章

(第一章ハ弱く 第二章ハ強く詠ふ)

たぐとく露けき
 み空をりる
 申み矢もむさふ
 眺むるころ
 秋の暮
 雁のころ
 兄弟が
 誰か

第二章

富士の根あり
 年頃あり
 篠つあえは
 年頃あり
 吹なふけ
 親のあた
 さらば降せ
 親のあた

佐渡の夜嵐

菊間義清

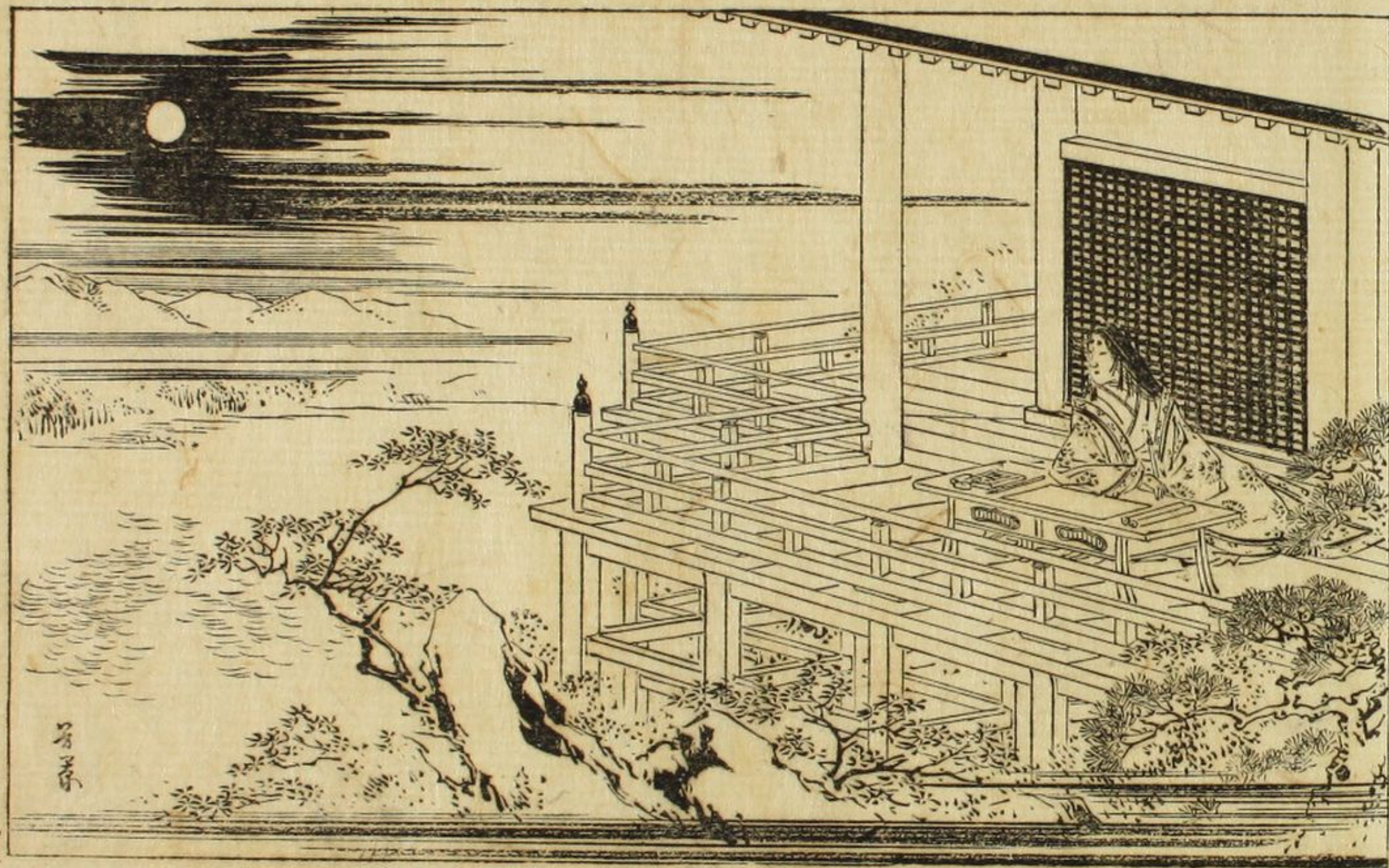
第一章

(第一章の弱く
第二章の強く語ふ)

都の北らをも たら波乃
五百重の志ほぢ いと遠く
父を尋ねてゆく 行く稚良の
旅路のゆゑんや いのちならん

第二章

山なるはあら波 音高く
篠つゝ大雨 さまさまいさ
佐渡が鳴根の 夜嵐も
なふらのおそれん 親の阿そ



ゆるりの色

真好義作曲

♩=100
mf

(変ホ調)
(一) 5 5 6 5 | 1 1 7 6 | 5 5 6 . 5 | 5 . 0 |
(二) コ ロ ニ カ カ ル ム ラ サ キ の テ

3 3 4 3 | 6 . 6 5 4 | 3 2 1 2 . 3 | 1 . 0 |
に ー ほり ひ ゆ かん し き ぶ ち ー の は ちる

2 2 3 4 | 5 5 4 3 | 6 5 1 . 6 | 5 . 0 |
ふ い ー か ヤ き マ テ ー し ラ ノ ツ こ き の カ ゲ の ハ

mf

1 1 7 6 | 5 . 5 6 4 | 3 2 1 5 . 7 | 1 . 0 ||
ふ ー み の が は オ ヤ モ し に み エ ー に け かり

ゆるりの色

菊間義清

第一章

第二章

雲井ふかろる
まほひゆのき
好のき根ざも
文乃林り
雲井ふかろる
まほひゆのき
好のき根ざも
文乃林り
紫藤花
言は葉の
見えよる

ゆるりかた
法の空ふ
石山寺は
君のおもひを
雲けれて
まみのぼる
月かげは
すけ鏡

玉簾たますだれ

中村秋香

第一章

かたげー雪ゆきは
峙たてつ峯みねーしり
たどひなき名なは
かけてあふる

玉たますだれ
いりたのく
萬よろづ代より
人ひとぞなき

第二章

しをよけしけりの
露つゆもよのよの
袖そで乃の几帳きちょうは
あふるよのよ

夜よるはあそ
言ことの葉はに
ぬれ衣ぎぬは
あふるよのよ

榮花えいげ

鳥山 啓

第一章

其名そのなもたなき
さくーもまどふ
道みちのくまもろは
はなを咲さかせ

をよこやま
言こと乃の葉はの
志こころをりして
をみなへ

第二章

榮さかゆるはなは
うつすはまら
人のいひーも
ふのきさいたるの

あまかげを
水みづぐきらじ
さむかひの
あればなり

鐘の音

坂正臣

第一章

更ふけて身みも
明あくさむびき
うたの志こころぶよ
その名な高たかくぞ

かねのたぐ
鶺鴒きりぎりすのこゑ
かけしより
響ひびきたる

第二章

みやびごころの
あやにゆのしと
千代ちよにすれぬ
きみづほのさざ

綾あや錦にしき
うゑ人ひとれ
待まち宵よひ乃
たぐひたる

大江山

小中村義象

第一章

月影つきかげけそき
いずゑをなれし
名なのし出いででたる
あそれとたむら

大江山
子こ規き
一聲ひとこゑを
ゆらざらん

第二章

たぶひとこしら
たのきほまれら
いほらみちの
仲なつがぬいとと

君きみが名な乃
大江山
幾代いくよまが
たづるる

黄金の花

納所辨次郎作曲

♩=96
mf

(変ホ調) 5 5 6 5 | 1̇. 7 6 5 | 4 4 3 2 | 3-0 |

(一) わー や の を し へ の こ ど の は を
(二) ト レ ツ キ ナ シ ガ ク コ ガ ク レ テ

1 1 3 2 | 5 5 5 6 | 4 2 1 7 | 1-0 |

1 ミ サ ミ ク ろ に き こ ハ ー め ル て マ ひ マ め チ か ツ け る レ

P

2 2 3 4 | 6 6 5 3 | 2 3 4 6 | 5-0 |

2 こ が が ね の は ヤ ー ま マ の さ ヤ き マ い プ で き て こ

mf

1 1 7 6 | 5 6 4 2 | 1 3 3 2 | 1-0 ||

1 ひ サ と の か が ー タ マ と ト て ら ド ナ メ を ケ り



黄金の花

鳥山 啓

第一章

おや乃教の
言の葉を
ひらねおろ
咲き出て
てらすなり
ひとの鏡の
黄金れけよの
ひよあかき

第二章

年月たどく
本づてれて
待ちつげし
山吹り
少づめなり
咲くほきたるを
鏡のやほれ
千里の駒を

鳥の壺

坂 正臣

第一章

志まのあまふ
なりぬれど
わづつまの
なぐさめて
いさまーさ
君をわすれぬ
あつまの
なぐさめて
いさまーさ
心づーを
なぐさめて
いさまーさ
門出すやー
いさまーさ

第二章

つまの為と
身をこすれ
疑はぬ
あよ竹は
御づれん
道に盡く
疑はぬ
あよ竹は
御づれん
たのきこふを
あよ竹は
御づれん
千代乃末すが
あよ竹は
御づれん

他粒水

菊間義清

第一章

海は野となり
うはりしまは
朝のれ盡きぬ
水はれきよに

野は山と
世は遠き
細川乃
鏡なり

第二章

やよみ小女子
住粒水に
みせよこのしるぬ
清きなづれの

もろゑん子よ
あすをなん
細川乃
その水を

言此葉

中村秋香

第一章

父が残りし
流るのよとと
ちが残りし
はらつきとら

らとの葉を
のしまひし
たのかさふ
れたまひし

第二章

燈火くらき
父が子ならばの
住吉瓜生野
世をわらわす

持佛堂
一言は
四條暇
関は聲

吉野山

小中村義象

第一章

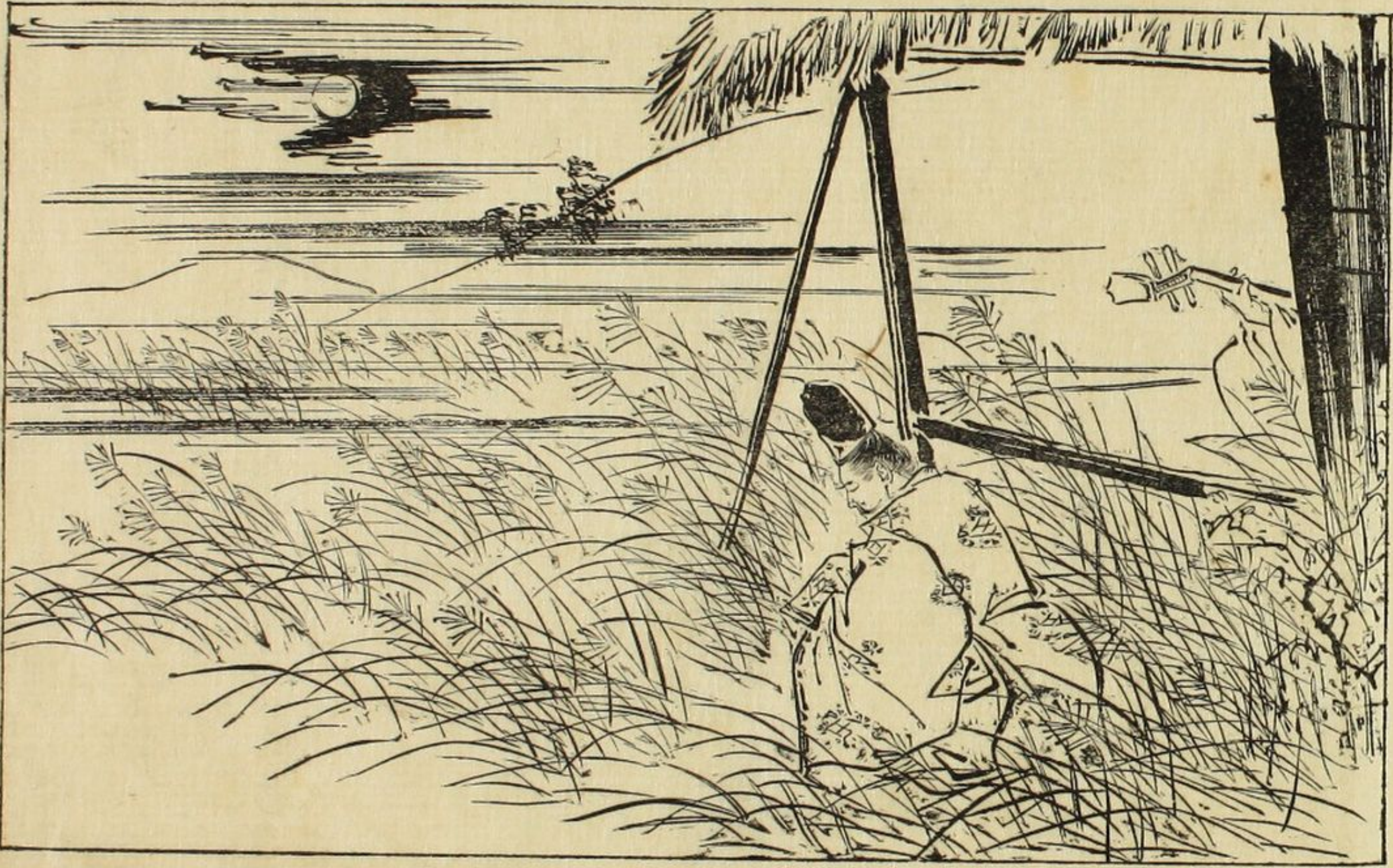
たよの真清水
 吹風さしき
 みねの白雪
 尋ねるひとは
 あらまなり

あまをり
 吉野山
 婦に分けて

第二章

千年をちぎる
 鼓のひびき
 きみを思ふ
 折ぐも露け

鶴が岡
 笛乃ら心
 ひびく
 神の庭



逢坂山

小山作之助作曲

♩=96

4/4

(変ロ調) 3 | 3 3 6 7 | 1. 7 6 7 | 1 3 2 1 | 7 - 0 |
 (三) う き ー よ へ だ つ る ち ふ ー さ か や
 (三) む き シ ノ ネ シ ゲ ー キ ニ パ ノ オ モ

7 | 1 1 7 6 | #5. 6 7 2 | 1 7 6 #5 | 6 - 0 |
 セ き ー の い た ど に む る ー つ き の
 ツ キ ー モ ヤ ド レ ル ク サ ノ ツ ユ

3 | #5 6 7 | 1 7 6 #5 6 7 | 1 2 4 3 1 | 7 - 0 |
 か #げ も か す う に ひ き ち ら ナ
 シ ノ ビ カ ネ タ ル ヨ ツ ー ノ ラ ノ

2 | 1. 7 6 1 | 7 . 6 #5 3 | 4 6 6 #5 | 6 - 0 ||
 ま ー ら ベ も あ さ ー れ び は ー の と ぶ
 シ ラ ー べ あ ア バ レ ト ダ レ ー カ キ ク

逢坂山

小中村義象

第一章

うき世はあつ
 せき板戸に
 かげらうとつよ
 調ゆるあそれ

逢坂や
 もる月乃
 引あそれ
 琵琶の聲

第二章

虫の音志げき
 つきも宿まらぬ
 志のびかぬも
 ちらぬあそれ

庭の面
 草乃露
 四の緒乃
 誰のきく

關 此 嵐

中村秋香

第一章

関乃あらはれ
松の本乃間ふ
三年はあきも
今宵やさやほき

音きこえて
うづる月
重ねまほ
影はえん

第二章

月影 白き
秋風らゆる
井の糸竹の
よもさやえた

朱雀門
関乃山
らえらるほ
ひづくなり

舞の袖

鳥山 啓

第一章

雲井にのり
道よまごき
老れと波
かぬの袂ど

龍の尾は
跡見せ
よせ身も
うらげを

第二章

老木のきこ
うもまらほ
大内山は
けなの袂を

ふる雪に
咲き出
たるうせに
えりり

扇合

菊間義清

第一章

雲井にかゝる
 筆のあとこそ
 ふ代にこそ
 墨は色こそ
 世尊寺の
 たまげき
 三跡は
 たまげれ

第二章

源氏の巻は
 色香こそ
 扇は乃
 匂いと
 うるけき
 君が筆
 香もた
 君の筆

明治廿七年六月二日印刷
 全 年六月七日發行
 明治廿七年七月廿日再版

東京市牛込區辨方町九番地

編者 奥 好義

全 市牛込區通寺町八番地

發行者 深野寅

全 市京橋區大鋸町三番地

發行兼 印刷者 青野友三郎

東京市神田區千代田町三番地

彫刻者 江川八左衛門



發兌書目廣告

歷史唱歌略解

全一冊 近日出版

本書ハ小學生徒ノ便宜ヲ謀リ菊間義清君ニ請ヒテ和氣清磨公ヲ始メ藤原行成卿迄ノ略傳ヲ列舉シ即チ歷史唱歌ニ付テハ尤モ有益一讀ノ下ニ歌ノ意味ヲ了解シ得ルノ良書也

祝祭日唱歌掛圖

全拾枚 實價金壹圓

右ハ文部省御撰定ノ唱歌ニ金剛石ノ御歌ヲ加ヘ奧好義先生自ラ階名略譜并ニ雜記號ノ說明ヲ附記セラレタルモノナレバ實ニ完全ナル良掛圖ナリ

新編軍歌附祝祭日唱歌

全壹冊

此書ハ小學生徒ヲシテ運動會ノ節進行ノ用ニ供センガ爲最モ簡易ナル歌曲ヲ撰ビ祝祭日唱歌ヲ附録トセリ

近衛軍歌

定價金二錢 郵税金二錢

歷史軍歌

全壹冊 定價金八錢 郵税金四錢

乘除算稽古本

全壹冊 定價金六錢五厘 郵税金貳錢

友つるの曲

定價金五厘 郵税金貳錢

大日本地圖

全壹枚美製 定價金貳錢

山本明納編輯 鐵道線路新撰 郵便電信撰 上製正價金三十錢並製正價金廿錢 但シ郵送料共

新訂萬國全圖

全壹枚美製

直江外次郎編纂 鐵道線路新撰 郵便電信撰 但シ郵送料共

俳諧歲時記

全壹折

校亭馬琴翁纂輯 正價金拾錢 但シ郵送料共

圍碁大全

全貳冊

秋山仙朴著 秘傳撰 正價金拾五錢 郵送料共

圍碁新法

洋綴全壹冊

一魁漫畫

全壹冊

師岡虎真雄著 新撰 正價金拾錢 郵送料共

加賀千代尼發句集

全二冊

當世初心雛形

全二冊

早操圖解

全一冊

明清樂譜

全參冊

大賀範國著 正價金拾五錢 郵稅貳錢
小池善次郎選述 正價拾錢 郵稅二錢
方位 正價八錢 郵稅四錢
家相 正價十二錢 郵稅二錢

竹内鈔次郎著述
小學算術練習書

全貳冊

片山直英先生
山本明納先生
村山鈺太郎先生
訂正増補
教科摘要

全壹冊

帝國新地圖

全壹冊

付附録統計表
地名
遺跡
關以雄君著

全壹冊

日本女德案

全壹冊

新井先生考定
五辰堂先生編述
明治
新刻

全壹冊

萬國新地圖

洋綴全一冊
正價拾七錢

日本新地圖

全壹冊
正價拾七錢
近刻

繪入文明のふみ

半紙綴
全壹冊
正價拾五錢

此書は徳川時代より今日に至る時勢の變遷に隨ひ部門を十
二に別ち圖畫三十を挿み通俗教育に適切なる歴史にして幼
男少女の好伴益友なり

西野古海編輯
作文二千題

中本全貳冊
正價貳拾錢

川田剛吉著
開化用文證

中本全一冊
正價拾錢

松田寅造著
女用文章

中本全貳冊
正價拾八錢

倉田鏡太郎編輯
東京字林玉篇

銅版寸本
全一冊
正價拾五錢

原田道義纂述
助字解

全貳冊
半紙綴
正價貳拾錢

市岡正一著
いろは字引

横本全一冊
正價三拾五錢

山中善三郎編輯
日本旅行案内

折本一冊
正價七錢

酒井拾彦編輯
驛路便覽

折本全一冊
正價拾五錢

奧好義作曲
菊間義清作歌
狩場の嵐

全一冊
正價貳錢

孔安國著
古文孝經

全壹冊
五錢

天章堂 青野友三郎
東京市京橋區大鋸町三番地

出版發行所 文京堂 深野寅吉
東京市牛込區通寺町八番地